

漁海況速報

3-No. 47

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和4年 2月25日～ 3月 3日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東35マイル付近を北東に流れ、 $36^{\circ}40'N$ $142^{\circ}30'E$ 付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、 $11\sim 15^{\circ}C$ 台の水温となっている。

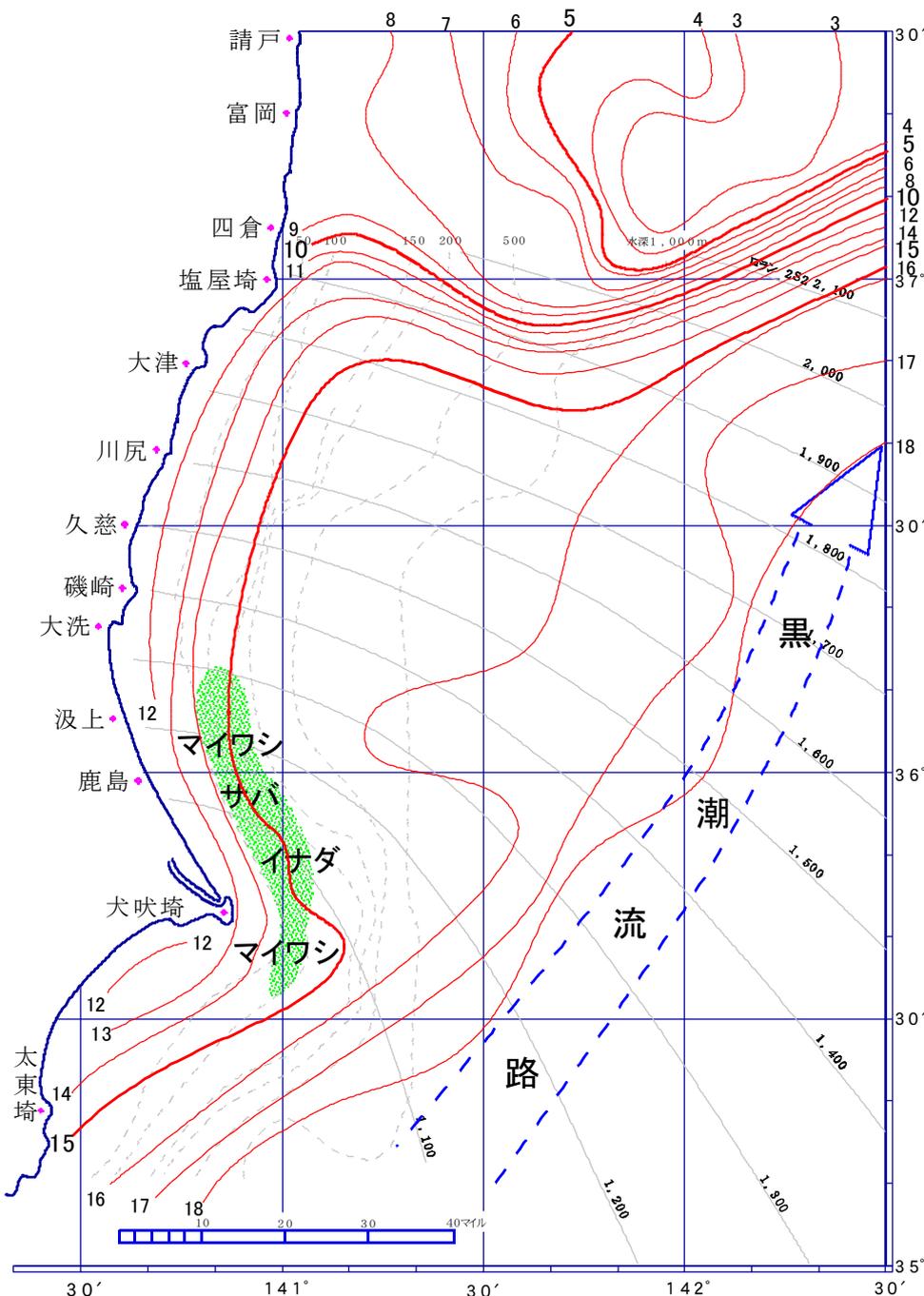
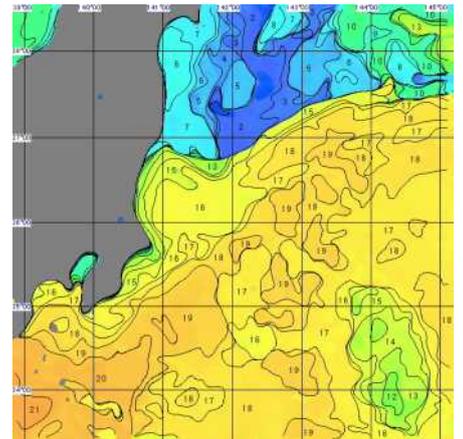
那珂湊定地水温(°C)

日	令4	令3	平年
2/25	11.1	11.4	10.1
26	11.3	11.9	10.1
27	11.5	11.3	10.1
28	11.6	11.7	10.1
3/1	12.0	11.5	10.1
2	11.8	12.3	10.1
3	12.3	11.6	10.1
平均	11.7	11.7	10.1

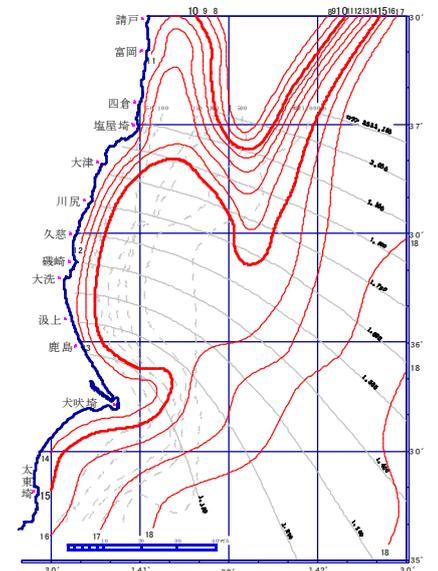
30年平均: 1991~2020年

令和4年 2月25日～ 3月 3日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和 3年 2月26日～ 3月 4日

【海況図】

漁況の特徴

3 - No. 4 7

属地、単位＝四捨五入

2/24～3/2

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数	
本ジラス	船曳網	大津	36	1,200	43,200	4	
		久慈町	110	1,636	180,000	3	
		那珂湊	34	1,810	61,550	3	
		大洗町	170	2,200	374,443	25	
シラス	船曳網	大洗町	161	338	54,450	14	
カエリ	船曳網	大津	4,145	20	82,900	16	
サヨリ 大サヨリ	船曳網	平潟	19	3,946	74,190		
		大津	48	2,824	136,415		
		久慈浜丸小	497	3,907	1,942,795		
		久慈町	355	3,658	1,298,990		
ヒラメ	小底5t以上	平潟	72	627	45,119		
		大津	43	643	27,828		
		久慈町	519	825	428,260		
		那珂湊	776	1,157	897,792		
		固定式刺網	41	683	28,270		
		その他釣り	49	1,068	52,230		
マコガレイ	小底5t以上	那珂湊	8	611	5,180		
イシモチ	小底5t以上	平潟	21	138	2,900		
		大津	20	308	6,167		
		久慈町	19	172	3,330		
		那珂湊	7	507	3,750		
タイ類	小底5t以上	大津	7	350	2,450		
		久慈町	93	427	39,730		
		那珂湊	231	647	149,540		
		固定式刺網	18	256	4,540		
スズキ	小底5t以上	那珂湊	104	650	67,490		
アンコウ	小底5t以上	平潟	908	162	146,772		
		大津	720	206	148,629		
		久慈町	1,870	182	339,880		
		那珂湊	1,077	395	425,870		
スルメイカ	小底5t以上	平潟	11,142	138	1,533,500		
		大津	(78)	4,389 (山売)	341,458		
		久慈町	1,288	211	272,400		
		那珂湊	775	378	293,025		
ヤリイカ	小底5t以上	平潟	96,758	283	27,375,430		
		大津	(602)	14,908 (山売)	8,970,380		
		久慈町	29,055	488	14,191,980		
		那珂湊	11,400	561	6,397,715		
マダコ	小底5t以上	平潟	14	175	2,455		
		久慈町	9	221	1,990		
		那珂湊	10	903	9,080		
ミズダコ	小底5t以上	平潟	102	76	7,779		
		大津	115	267	30,726		
		久慈町	244	210	51,280		
		那珂湊	51	519	26,465		
ホウボウ	小底5t以上	平潟	19	499	9,490		
		大津	26	684	17,719		
		久慈町	35	370	12,840		
		那珂湊	99	770	76,265		
		固定式刺網	21	420	8,600		
		延縄	61	1,170	71,740		
		その他釣り	6	885	5,220		
		那珂湊	398	2,205	877,200		
アナゴ	小底5t以上	平潟	24	376	9,024		
		大津	27	280	7,615		
		久慈町	36	217	7,810		
		那珂湊	27	634	17,115		
マアジ	小底5t以上	平潟	178	24	4,320		
		久慈町	67	72	4,825		
		那珂湊	24	249	5,915		
サバ	小底5t以上	那珂湊	7	458	3,160		
		大津	115,229	66	7,596,197		
		はさき	441,706	66	29,078,565	6	
ブリ類	その他釣り	那珂湊	9	456	4,060		
マイワシ	小底5t以上	まき網	3,079	150	461,850		
		まき網	那珂湊	66	184	12,145	
			大津	229,922	38	8,654,606	2
			はさき	2,575,235	34	86,657,799	14
カマス	小底5t以上	久慈町	11	745	8,200		

◎

まき網

(漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・鹿島の北東10マイル付近から犬吠埼の南東10マイル付近で5～430トンの漁獲。

サバ・・・鹿島の北東10マイル付近から犬吠埼の北東10マイル付近で1～95トン、良い船で120～160トンの漁獲。

イナダ・・・犬吠埼の北東5マイル付近で1～25トンの漁獲。

◎

小型船

(漁獲は1隻当り)

◇船曳網

本ジラス・・・大津地先で2～16kg、那珂湊地先で2～10kg、大洗地先で1～33kgの漁獲。

カエリ・・・大津地先で10～80kgの漁獲。

ノレソレ・・・大津地先で1～13kg、大洗地先で1～6kgの漁獲。

サヨリ・・・平潟地先から磯原地先で20kg前後(1ヶ統)、日立地先で14～74kg(1ヶ統)の漁獲。

◇手釣り

平潟地先でヒラメ5～10kgの漁獲。

◇曳釣り

矢指地先から高戸地先でサワラ10kg前後、日立地先でサワラ3～50kg、タチウオ2～293kg、久慈浜地先から銚田地先でヒラメ1～30kg、ホウボウ1～30kg、マゴチ1kg前後の漁獲。

◇タコツボ

鹿島地先でマダコ30～250kgの漁獲。

注 延隻数・銘柄別隻数 大津の水揚の一部は水揚げ量・平均円共に「山売」を含む

茨城県水産試験場漁業無線局

近年「増えた」魚と「減った」魚 ～水温および海流との関係から～

1. 「増えた」魚と「減った」魚

- 近年、本県ではタチウオやサワラの漁獲量が増加し、それとは逆にマコガレイやイシガレイの漁獲量が減少しています（図1）。
- 水産試験場では本県の重要魚種と近年、増加減少傾向の大きい魚種を含めた計29種を過去20年の漁獲量の変化から分類しました。
- その結果、増加傾向グループと減少傾向グループの2つに分けられました（図2）。
- それぞれのグループに含まれる魚種について分布の特徴から暖水性魚類、冷水性魚類、広域性魚類のいずれかに当てはめると、増加傾向グループは暖水性魚類、減少傾向グループは冷水性魚類が多く含まれることが分かりました。

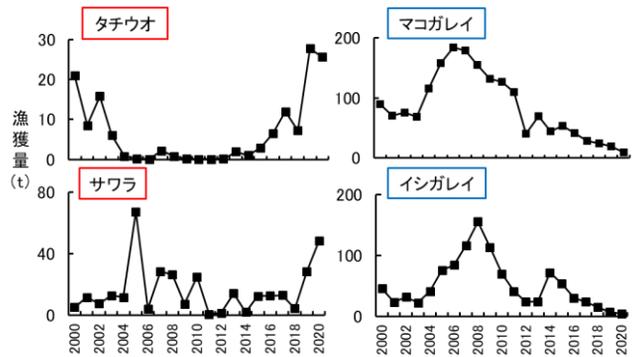


図1 漁獲量の推移

増加傾向グループ(16種)

アオメエン(暖)、キアンコウ(暖)、サワラ(暖)、シラス(暖)、
タチウオ(暖)、ブリ(暖)、マダイ(暖)、
ヤナギムシガレイ(暖)、ユメカサゴ(暖)、イセエビ(暖)、
サバ類(広)、サンマ(広)、ヒラメ(広)、マイワシ(広)、
ムシガレイ(広)、ヤリイカ(広)

減少傾向グループ(13種)

イカナゴ(冷)、イシガレイ(冷)、イシカワシラウオ(冷)、
マコガレイ(冷)、マダラ(冷)、ヤナギダコ(冷)、
サヨリ(広)、マアジ(広)、マコガレイ(広)、スルメイカ(広)、
マダコ(広)、カタクチイワシ(暖)、カツオ(暖)

※暖水性魚類: 主分布域及び主産地が茨城県以南;
冷水性魚類: 茨城県以北; 広域性魚類: 日本全体

図2 過去20年間の漁獲量による分類の結果と各魚種の特徴

2. 水温や海流との関係

- 近年の水温と海流の変化を図3に示しました。
- 水温は上昇傾向、黒潮続流の北限緯度および親潮第一分枝の南限緯度は北偏傾向で推移しています。
- この水温や海流の変化が先ほどのグループにどのような影響を与えているかを調べたところ、増加傾向グループは①海流との関係が強く、②黒潮の勢力が強いと増加すること、減少傾向グループは①水温との関係が強く、②水温が低いほうが増加することが分かりました（図4）。

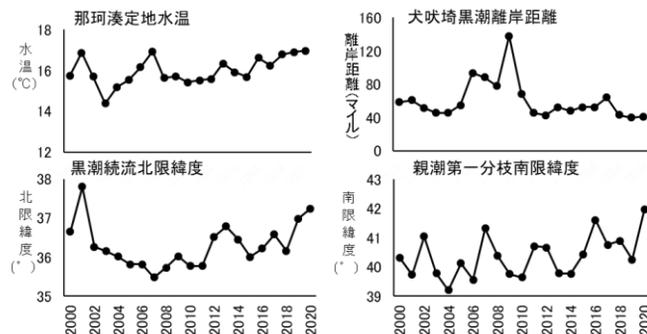


図3 水温と海流の変化

増加傾向グループ

- ①海流との関係が強い
- ②黒潮の勢力が強いと増加

減少傾向グループ

- ①水温との関係が強い
- ②水温が低いほうが増加

図4 分類の結果と各魚種の特徴

以上のことから、本県の漁獲対象種は大きく2グループに分かれ、水温や海流の影響を受けて増加減少をしていることが明らかになりました。水産試験場は今後も海洋観測等のモニタリング調査を継続し、海況の変化が魚類に与える影響について調査を実施してまいります。

回遊性資源部 大森健策